

第3回意見交換会 記録

1. 日時：令和元年 11 月 10 日 11 時 00 分～12 時 40 分
2. 場所：相生山緑地
3. 団体名：いっせい行動関連団体（「健康と環境を守れ！愛知の住民いっせい行動」
実行委員会、道路公害反対愛知県民会議）
4. 市出席者：緑政土木局企画経理課 岩本主幹（企画）、上杉主査（企画）
道路維持課 水谷主査（安全対策）
道路建設課 山中課長、可児主査（事業調整）
緑地事業課 岩本課長、中村緑地計画係長
5. 参加者：3 名
6. 当日の次第
 - (1) 開始のあいさつ
 - (2) 現地説明、質疑等
 - (3) 終了のあいさつ
7. 主な質疑、意見等（○参加者、●名古屋市）
（意見交換会について）
 - 相生山緑地で標高が一番高いところと、爆弾投下跡を見たい。
（緑地計画について）
 - 建設済みの構造物を壊して森にした方がよいと思う。
 - 構造物はそのまま何もしないのがよいと思う。
 - 公園整備をする際、相生山緑地の地形はバリアフリーに適しているのか？ふれあいの丘が拠点に適しているのか？車いすの人がツリークライミングをやりたいと思っているのか？
 - ユニバーサルデザインは現在公園を整備するにあたっては必須となっている。ただし、公園全体に適用するのではなく、地形によって適用する場所を考える必要はある。また、障害者団体から意見聴取を行っていく。ツリークライミングについての意見も確認していく。
 - 戸田川緑地のデイキャンプはよく使われているようだが、相生山緑地では必要なのか？
 - H26 市長表明でも言及されているが、あくまでも素案として示したもの。
 - 里山には神様が祀られているもので、それが相生山緑地にはないので里山とは言えないのではないか？
 - 相生山緑地で過去に樹木が伐採され、はげ山となっていた時期がある。それは人の手が入っていた証であり、里山と言えるのではないか。それぞれの考えがあるので、今後も意見交換していきたい。
（園路について）
 - 園路を造らなければいけないのか、既存園路を使えばよいのではないか？
 - 素案では4カ所を広場として考えており、そのうち活動拠点のふれあいの丘には、東西からアクセスが可能なように園路案を示した。

- 29 億円を執行したとしているが、その中には用地買収費も含まれており、公園となったとしてもその費用は無駄にならないのではないか？
- 建設済みの構造物も公園施設として活用する計画となっているので、無駄にはならないと考えている。

(道路について)

- シェルター区間の道路幅員は？
- 歩道 3.5m＋車道 7.5mの 11m。構造物等を含めると 14m。
- 道路建設のために 1 万本の樹木を伐採したのは本当か？
- 約 9,500 本伐採し、一部をシェルター上部に移植した。シェルターの東側は工事中止の為、土を載せるところまで完成できなかったが、ひとりばえの樹木が育っている。
- トンネル構造としなかったのはなぜか？
- 土被りが不足しており、排気口など設備も多くなってしまうためシェルターとした。
- 雨水処理はどうなっている？
- 雨水管につながっている。
- 相生口に工事中止看板が掲示されているが、図が違っているのではないか？
- 着手済みや事業費上は 8 割となっているが、完成している箇所はないと皆さんに説明をしている。

(整備プログラムについて)

- 素案の図面で北側がグレーとなっているが、公園区域が外されたのか？
- H30 発表した整備プログラムにおいて削除検討として示したもので、削除するには関係権利者の方々への説明が必要。
- 所有者が不同意の場合はどうなるのか？
- 都市計画公園緑地の区域は変更されない。他の区域と同様で、事業着手した段階で、用地交渉に行っていくことになる。
- 用地取得が何年先になるのか分からないのではないか？
- 借地対応としている区域は、用地取得までに樹林に手を入れなければ荒れてしまうため、借地対応でオアシスの森として暫定供用できないか検討する箇所である。